# 上野総合公園 子どもたちと多世代の集いの場の整備と活用

**質問議員：青山学**

**対象議会：2026年9月定例会 一般質問**

---

## 会議の再開・質問の開始

**【桂藤議長】**

休憩前に引き続き会議を再開します。次の質問に移ります。青山学議員。

**青山学議員**

**議席番号2番、会派里山未来クラブの青山学です。今回は上野総合公園における子どもたちと多世代の集いの場の整備と今後の活用について質問させていただきます。**

---

## 1. 子どもたちと多世代の集いの場の整備の進捗状況と、整備後の活用・運営について

**青山学議員**

**第3期庄原市長期総合計画では、安心な暮らしが充実し庄原に関わる人の未来がつながっていく街を将来像として掲げています。この将来像を実現する上でも、上野総合公園に整備される子どもたちと多世代の集いの場は重要な役割を担うものと考えており、令和9年度の供用開始が予定されているこの施設には、市民からも大きな期待が寄せられていると認識しています。**

**私はこの施設について、単に新しい施設を整備することだけが目的ではなく、完成後にどのように市民に利用され、人と人との交流を生み出し、地域づくりや庄原市全体のまちづくりにつなげていくのかが重要と考えます。そこで以下について伺います。現在の施設整備の進捗状況と、整備後における子どもから高齢者まで幅広い世代が集い交流するための具体的な活用及び運営について、市長の考えを伺います。以下は質問席で行います。**

**【桂藤議長】**

答弁、市長。

**【八谷市長】**

ご質問にお答えいたします。

子どもたちと多世代の集いの場整備事業の進捗状況につきましては、設計施工に係る事業者についてプロポーザル方式により受託事業者を決定した後、本年7月31日付で契約を締結し、年度内の工事完了に向け事業着手をいたしております。

次に、整備後における活用運営につきましては、整備方針を、子育て世代のニーズに応え日常使いの中で安心して子どもを遊ばせられる場所とし、多様な遊びを経験できるツリーハウスを中心に日陰空

間を作ることで、多様な世代が滞在したくなる公園、ゆっくりと過ごしたくなる公園を目指しております。今後は、多くの市民や子育て世代の皆さんに活用していただけるよう情報発信に努めるとともに、上野総合公園と一体的な運営が行えるよう準備を進めてまいります。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**ニーズにしっかりと対応した、そのように活用できる施設があれば庄原市となれば、多くの市民が希望を持てると思います。では、進捗状況について詳しくまた聞かせていただきます。**

**令和7年11月19日の議員全員協議会ではですね、こちらの方、業者決定の方が令和8年3月業者決定契約、そして令和8年4月に設計施工着手というスケジュールが示されていたと私は認識しております。そしてですね、先週上野公園の方訪れたところ、遊具を更新していますといった看板が設置をされておりました。現在の事業の進捗状況なんですが、当初示されたスケジュールに対してどのような状況になっているのでしょうか。令和9年4月の供用開始に向けて、現在の進捗について遅れが生じていないかを伺いたいと思います。**

**【桂藤議長】**

答弁、都市整備課長。

**【都市整備課長】**

工事の進捗についてお答えさせていただきます。

現在、市長答弁にもございますように、本年7月31日付で契約を締結し、工事を借注しております。当初の予定よりも着手が遅れたものの、年内に完了する工程を確認しており、工程表に沿って年度内の完了に向けて計画的に工事を進めてまいります。以上。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**先ほど答弁がありました年度内完了に向かっているということなのですが、ある程度のスケジュールから遅れがあるにしろ、令和9年4月に供用開始、これについてはしっかりとできる、そういった認識でよろしいでしょうか。**

**【桂藤議長】**

答弁、都市整備課長。

**【都市整備課長】**

工事の進捗については、現在そのような計画で確実に進めてまいりたいと思っております。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**4月に供用開始、それを目指しているということを伺いまして、市民としては昨年11月から使用、遊具に対して使用ができないというロープが張られて、いつか、いつかと待ち望んでいる状態ですので、そういった4月に向けてしっかりと取り組んでおりますという答弁をいただいて、市民の方は待ち望んでいる、市民は大いに期待をしていると思います。私もその一人です。ですから、だからこそ現在の進捗状況、そして市民への情報提供を早い段階で行っていただきたいと思います。そういった市民への情報提供というのは今後どういったものを考えておられるのでしょうか。ご答弁願います。**

**【桂藤議長】**

答弁、経営戦略課長。

**【経営戦略課長】**

市民への周知の関係のご質問でございますけれども、今後ですね、広報庄原等を活用いたしまして、市民の皆さんにも進捗状況等をお知らせをしていきたいと考えています。直近で申しますと、広報庄原の10月号で特集のページを組みましてご案内をする予定で、今編集に努めておるところでございます。以上。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**はい、情報発信でですね、広報庄原10月号に小林寺のやつを載るという、こういったこともですね、やはり載ってみて知って、そしてやっと市民が納得をするんだと思います。そういった市民の納得を得るためにもですね、やっぱり一人でも多くの広報の仕方を考えていただき、していってもらいたいと思います。**

**私はですね、今回この整備事業に関しては子育て世代が大きなハブとなっておると思います。ですから、子育て世代に刺さるような広報の仕方や見せ方が必要なんじゃないでしょうか。市の公式Facebookでもしっかりと発信をされております。私も結構市の公式Facebookチェックさせていただきます。ただですね、隣の三次市の話になるんですが、こちらのインスタグラムという別のSNS媒体がですね、フォロワー数が3794人、庄原市のフェイスブックのフォロワーはですね1839人と、種類は違うんですけど約2倍以上の差があります。またですね、公式LINE、こちらの方は三次市が17,130人登録があります。そして庄原市は3,611人という数字になります。**

**この数字から私が何が言いたいのかと言いますと、やはりこういった子育て世代に刺さる、そういったものの広報に関しては庄原市はまだまだ可能性があるんじゃないかと。インスタグラムの活用であったり、公式LINEにもっと力を入れれば、こういった広報ができるのではないかと私は可能性を感じております。そのことを踏まえて、こちらの新しい事業の広報の仕方、これがやはり広報庄原10月号と先ほど答弁いただきましたが、もっと新しい可能性を感じた広報の仕方、それは考えておられないのでしょうか。答弁を願います。**

**【桂藤議長】**

経営戦略課長。

**【経営戦略課長】**

広報の収支の仕方について、具体的な場合でも出していただいたご質問に対して答弁させていただきますが、この子育ての集いの場に限らず、本年度、ビスルのリーディングプロジェクトの方でブランディングの推進を進めております。そういった中で、今後の情報発信の仕方については現在プロジェクトチームの中でも様々検討しておりますので、より伝わりやすい情報発信の仕方、議員もご指摘いただきましたように、とりわけ若い世代の方というのは非常にSNSによって行動につながってくるという側面もございますので、そういった若い世代に刺さるような情報発信の仕方というものを含めて今検討しておりますので、ご指摘いただいたような場合での活動も含めて検討させていただきたいと考えております。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**そういった新しい媒体の活用も含めて、今回広報庄原の表紙も表彰されたこともありますし、そちらの方も楽しみにしている人もいます。今現在やられている取り組み、広報庄原での広報、ホームページでの広報、そして新たな媒体に力を入れるという前向きな答弁をいただいたと思っております。子育て世代の期待の大きい事業ですので、本当にこれは進捗状況については多くの人の目に触れるように工夫していただきたいと思います。また、今回スケジュール通りに4月に供用されれば、多くの方が4月に来場されることが予想されます。そういったときに、ぜひとも公式LINEに来た方が登録できるような誘導もご検討いただきたいと思います。**

**では次に、今回の事業選定について伺いたいと思います。今回、先ほど答弁があったとおり公募型プロポーザル方式が採用されております。価格だけではなく、事業者の実績や提案内容、施設の機能性、創造性、そして安全面など総合的に評価する方法だと私は認識しております。今回の事業において公募型プロポーザル方式を採用した具体的な理由について、そして事業者選定にあたって市として特に重視した評価項目は何だったのかを伺いたいと思います。**

**【桂藤議長】**

答弁、経営戦略課長。

**【経営戦略課長】**

プロポーザル方式とした理由、または選定に当たっての基準に関するご質問かと思います。答弁をさせていただきます。

まずプロポーザル方式の狙いでございますけれども、新しく子どもたちと集いの場の整備を行うにあたりまして、限られた事業費を最大限活用いたしまして、利用者の方に喜んでいただける施設を設置するということで、広く公募し、事業者を選定する公募型プロポーザル方式を採用いたしております。実際にこういった施設整備を行う場合は入札方式によることがほとんどでございます。この方式ですと価

格の高低のみにより受注者を決定するということになりますので、事業者の提案内容など価格以外の良さを、なかなか受注者決定の過程に反映することができません。こういった入札方式が効率性は高いのですが、事業者の様々なアイデアを整備内容に盛り込むというところが少し入札方式では欠けてくるというところもありまして、今回プロポーザル方式で、本事業に求めます要素を審査基準として定めた上で、その基準に従ってプレゼンテーションを交えながら事業者の審査をするということで、この事業にふさわしい事業者をより具体的に選定をできるということで、このプロポーザル方式を採用したという経緯がございます。

また、業者の選定にあたりましては、審査項目といたしまして、テーマコンセプト、遊具の構成要素、安全対策、維持管理経費、そういったものを含めた採点方式で評価をいたしております。具体的な重点項目といたしましては3点ございまして、まず1点目は、子どもたちが一緒に楽しく遊べ、繰り返し往来したくなるような施設がどうか。2点目は、誰もが一緒に楽しく遊ぶことができる遊具、いわゆるインクルーシブ遊具の機能が発揮できるかどうか。3点目といたしましては、昨今非常に暑い日が連日続いておりますように、強い日差しなど暑さ対策ができていて、長時間公園を利用しやすい遊具かどうか。こういった点を重視いたしまして、最終的には見積額の比較も含め審査を行っております。

また、審査の際には市職員で構成します審査会で審査は行っておりますが、その審査会の前段で、子育て世代の方々、また専門的知見を有する方々の意見も聴取いたしておりまして、それらを参考に事業者選定を行っております。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**はい、先ほどの答弁ですね、価格だけではなく、またそういった安心面であったり、繰り返して誰もが遊べる、また強い日差し、長時間遊べるところ、そういったいろんなことを重要な点としてピックアップして選ばれたというふうに受け止めさせていただきます。そして今回ですね、選定された高岡株式会社はですね、県内でも様々な施設の整備実績があると私は認識しております。一点、三次の運動公園、そして遊び王国小竹市、春見臨海公園、エフピコアリーナ福山と、これはホームページで確認をさせていただきました。そういった中で、先ほど答弁いただいたんですが、やはり今回子どもたちと多世代の集いの場の事業として、ここが刺さった、ここを一番評価しているといったところが具体的にあるのでしたら、ちょっと教えていただきたいと思います。**

**【桂藤議長】**

答弁、経営戦略課長。

**【経営戦略課長】**

ご質問にお答えします。先ほどの答弁の重複いたしますが、審査の基準について、審査項目として先ほど申しましたように、繰り返しお笑いしたくなるような魅力ある場所であるか、またどんな方でも遊んでいただけるようなインクルーシブ的な要素があるかどうか、また非常に暑い中、そういう日差しを避けて遊べる、休める、休憩できる、そういった場所があるかどうか、そういったところを重点項目ということで審査基準として設けておりまして、その審査に沿って選考を行っております。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**はい、繰り返し失礼いたしました。ただですね、こういったまとめさせていただいておくと、繰り返し使える、そして誰もが遊べる、そして強い日差しの中でも長時間活動できる、そういったものがですね、4月に供用できるというような期待を持たせていただきたいと思います。**

**ではですね、維持管理のことについてちょっと聞かせていただきたいと思います。完成後の維持管理についてですが、私は新しい施設については完成した時点だけを見るのではなく、10年、20年と市民に使われ続ける施設として考えることが重要だと思っております。そこで、施設の想定耐用年数や定期点検、修繕、将来的な大規模修繕、遊具や設備の更新など、長期的な財政負担、そしてランニングコストを今現在どのように見込んでいるのか伺いたいと思います。**

**【桂藤議長】**

答弁、都市整備課長。

**【都市整備課長】**

遊具の耐用年数、またランニングコストについてお答えいたします。

現在プロポーザルの資料までしかございませんので、そちらの中身でご説明させていただきます。遊具については、主要支柱や構造体の素材について標準耐用年数が15年から25年となっております。ただし、遊具等の施設は多様な部材を複合的に使って複合的な構造となっておりますので、日常点検や有資格者による定期点検の結果を踏まえ、定期的に部材交換などを行えるように考えております。安全な施設として長寿命化を図り、また長期視点で修繕費用の見込みについて検討もしていきたいと思っております。現在設計中でありますので、具体的な部材の確認がまた取れませんので、金額についてはお示しできませんが、3年から10年間のスパンで計画的な修繕を提案いただいておりますので、それらを参考に、素材が確定しましたら必要な修繕について長期的に管理できるように計画を立ててまいりたいと思います。

またランニングコストについては、上野総合公園の管理は今指定管理で委託しております。管理の委託料として、日常点検、また年に1回の遊具の定期点検などに、現在のものに合わせて追加で30万円ぐらいの費用が年間かかるように試算しております。以上。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**今後20年近く使用するということを考えた場面で、費用面で、作ってからも費用がかかるという考え方で将来的な見通しをしていくことが私は重要だと思っておりますので、またもし具体的な金額等が分かれば、ぜひお示しいただきたいと思います。**

**今回この施設は、行政が頻繁にイベントを開催して、そしてイベントのときだけ人が集まる施設、そういうのではなく、子ども、子育て世代、高齢者など幅広い世代が日常的に訪れ、そして自然と交流が生まれる、繰り返し使える、そして誰もが遊べる、そういったもの、それが子どもたちと多世代の集いの場が目指す場だと私は認識しております。私はこの施設が完成してゴールではなく、完成してからがスタートだと考えております。イベントがない日にも市民が訪れ、自然と人が集まり交流が生まれる場所にしていくことが重要ではないのでしょうか。行政がイベント等を主導で開催して人を集めるのではなく、先ほども答弁であったとおり、市民が普段使いとして自然と集まる、そういった場所、そして子どもが遊んでいる横で高齢者が休憩しているとか、親子で自転車の練習をしているとか、子育て世代、地域の高齢者が自然に会話をする、スポーツをしている人と公園を利用する人が交流する、そうした何か特別なイベントがなくても人が集まってくる、集ってくる、いろんな人が、それが繰り返し誰もが遊べる、そういったのが子どもたちと多世代の集いの場が目指すビジョンというふうに私は先ほどの答弁で認識を受けたのですが、その点間違いないでしょうか。もう一度答弁願います。**

**【桂藤議長】**

答弁、経営戦略課長。

**【経営戦略課長】**

ご質問にお答えします。議員がご指摘いただきました内容でございますけれども、先ほど市長答弁にもございましたように、この施設の整備方針については、子育て世代のニーズに応え日常使いの中で安心して子どもを遊ばせられる場所というふうに答弁しておりますように、まさにこれがコンセプトになってくるかなというふうに考えます。開放している時間の最中に多様な世代の方が安心して遊んでいただける場所ということもありますので、しっかりそういったコンセプトをしっかり発信していくというのも大事かなというふうに思いますが、まさに日常使いの中でしっかりご活用いただくというのがこの目的かなというふうに考えておりますし、また様々設備内容を工夫することで、滞在したくなる公園、ゆっくりと過ごしたくなる公園を目指すというふうにしておりますので、そういったコンセプトに基づいて進めてまいりたいと考えております。議員ご指摘の内容とほぼ合致するのではないかなというふうに考えています。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**はい、先ほどとめあったニーズに応えて安心して遊んでいる場所、これをですね、私、庄原市民の一人としてもしっかり期待をして、4月を待とうと思っております。**

---

## 2. 上野総合公園から見る今後の庄原市のまちづくりについて

**青山学議員**

**それでですね、次の質問に移らせていただきたいと思います。子どもたちと多世代の集いの場のコンセプトは、先ほどの答弁で私は理解をさせていただきました。少し広げて、上野総合公園から見る今後**

**の庄原市のまちづくりについて伺いたいと思います。**

**第3期庄原市長期総合計画を掲げる、庄原に関わる人の未来がつながっていく街を実現するためにも、今回の施設整備を一つのきっかけとして、上野総合公園全体をスポーツ、子育て、健康、交流がつながる地域づくりの拠点として育てていくのが重要だと私は考えます。そこで市長に伺います。上野総合公園を子どもたちと多世代がつながる地域交流の拠点として育て、今後の庄原市のまちづくりにつなげていく考えがあるのか、市長の見解を伺いたいと思います。**

**【桂藤議長】**

答弁、市長。

**【八谷市長】**

ご質問にお答えいたします。

上野総合公園陸上競技場は第3種公認グラウンドの機能を有し、陸上競技をはじめサッカーやタグラグビーなど様々なスポーツ団体等に活用いただいており、スポーツ振興において重要な施設でございます。

また、隣接する芝生広場に子どもたちと多世代の集いの場を整備することで、子育て世代をはじめ多様な世代が日常的に滞在していただけるエリアとなります。さらに、近隣にはラフォーレ庄原や夢桜など宿泊や交流の拠点施設が設置されていることに加え、庄原インターチェンジからのアクセスも容易であることから、付近一帯の魅力が向上し活気あふれる場所になると認識しており、立地を生かした活用の検討を進めてまいります。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**先ほど市長答弁がありましたとおり、上野総合公園、そして夢桜、ラフォーレ、こちらの連携も市長の昨年も答弁があったように、私も期待するところでございます。しかし逆に言えば、その施設のどれか一つに不備があれば、他の施設も影響が出る可能性、危険性もあると思います。そのために一つ一つの施設を今一度考えなければいけないのでしょうか、いけないのではないのでしょうか。以下、上野総合公園にフォーカスさせて質問させていただきたいと思います。**

**まず、上野総合公園の陸上競技場についてです。現在、先ほども市長答弁がありましたとおり、上野陸上競技場は3種公認の陸上競技場として県大会も開催され、天然芝についてもサッカーやタグラグビーなどの利用者からも評価されている、庄原市にとって重要なスポーツ施設です。そこは市内だけではなく市外からも大会やスポーツ活動で利用される、スポーツ競技者からまさにこれは普段使いがされている施設になっております。だからこそ、設備の不具合や老朽化によってこちらの利用者が離れていくことは避けなければいけないと考えます。そこで、上野運動競技場の設備や施設機能を将来にわたって普段使いとして維持していくため、今後どのような維持管理、改修を考えているのかを伺いたいと思います。**

**【桂藤議長】**

答弁、都市整備課長。

**【都市整備課長】**

上野総合公園の維持管理についてお答えいたします。

現在、上野総合公園は指定管理を行っておりまして、日々施設については点検等を行っております。また今後、施設の更新等については、今具体的に大きな計画はございませんが、長寿命化計画に基づいて必要な施設については順次更新をしていくように行っていきます。以上です。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**今回、上野総合公園をスポーツとして交流の拠点として考えるのであれば、上野運動競技場についても壊れてから修繕とする対応ではなく、計画的な改修が必要だと思っております。特に先ほど述べたように、施設や施設機能の不良から利用者が離れることは、コンセプトである普段使いですね、日常的に使える場所、そういったものに反するのではないでしょうか。また逆に、そういったものが対応できていなければ、自然と人が集まるのではなく自然と人が離れていってしまいますので、しっかりと対応をお願いしたいと思います。**

**次に、総合公園の駐車場について伺いたいと思います。今回の施設は子ども連れの家族をはじめ、市内外から幅広い世代の利用が想定されております。庄原市の地域特性を考えれば、自家用車は重要な交通手段です。そのため、施設そのものだけではなく、来場者が安心して利用できる駐車場環境も重要だと考えます。ここで、今回新たに整備された駐車場は一区画が235センチ、これ約235センチと言わせてください、これは私が実測したことですので約にさせてもらいます。一方、以前からある駐車場は約210センチで、新しい駐車場と比べ25センチの差があります。新しい駐車場の方は広く設定されております。そこで伺いたいと思います。今回新たに上野総合公園に整備された駐車場を幅235センチと広くされた理由を伺いします。**

**【桂藤議長】**

答弁、都市整備課長。

**【都市整備課長】**

駐車場の区画についてご質問にお答えいたします。

議員自ら計測をいただいておりますが、実際に計測する位置が、ライン、区画線の線の中心から中心を測りますので、実際には現在の整備した駐車場は長さが5メートル、そして幅が2.5メートルとなっております。区画ですが、国土交通省の駐車場指針におきまして、駐車場マスにおける普通自動車の幅員は2.5メートル、小型自動車2.3メートル、軽自動車2メートルとなっております。この度の整備では、既存の幅員2.3メートルの駐車マス176台に対して、幅員2.5メートルの駐車場79台を増加し255台としております。長さについては、高級生産など一部5メートルを超える車両もありますが、駐車場全体の構造や一般的な目安を勘案して、長さについては5メートルを採用しております。以上。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**計測の方法については大変失礼いたしました。ではですね、すみません、こちら私が計測させてもらったことで話をさせていただくんですが、そうであればですね、既存の今ある駐車場がですね、210センチ、白線の内側から内側と狭い状態があります。これを今後改善する検討があるのではないかと思っております。特に小さな子どもを連れた保護者の場合、ドアを開けてチャイルドシートから子どもを降ろす必要があります。高齢者の場合も車から乗り降りする際に一定のスペースが必要です。そういった子育て世代や高齢者にとって使いやすいにつながるために、この駐車場の幅についてどのようにお考えでしょうか。**

**【桂藤議長】**

答弁、都市整備課長。

**【都市整備課長】**

既存の駐車場の区画についてご質問にお答えいたします。

既存の駐車場の幅についても、計測の仕方からすると2.3メートルとなります。先ほどの国土交通省の駐車場指針でいう小型自動車2.3メートルの区画というふうになります。こちらの現在の区画については、ドリームサッカー事業が行われた際に新たに区画線を引き直しておりますので、現状は今回の整備で広くすることは行っておりません。実際に2.3メートルの区画については、小型自動車や軽自動車の方でご利用いただけたらと思っております。新たに区画を整備しました79台については普通自動車を利用していただけるように考えております。将来についてはまた区画線の損耗具合を考えて、また使用車両の状況を見て検討したいと思います。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**私は今回の施設について、いいものを作ってくださいと言っているのではなく、今後20年使う施設でありますから、先ほど言った駐車場の幅であったり、プロポーザルで配慮された日陰だったり、またベンチ、トイレ、動線、そういった安全性など、一つ一つの配慮、これが現れた施設であることが必要なのではないかと思っております。その小さな配慮の積み重ね、それが、庄原市はここ駐車場のことを思ってくれているんだ、広くしたのを作ってくれたんだ、そういったことで、庄原市は子育てがしやすい、また庄原は高齢者にも優しい、そしてまたこの場所に行きたいという市民の実感につながっていくのではないでしょうか。第3期庄原市長期総合計画の、安心な暮らしが充実し庄原に関わる人の未来がつながっていく街という庄原市の将来像は、私はもうこうした一つ一つの積み重ねから実現していくものだと私は考えております。このような利用者目線での細かな配慮、積み重ね、それができる庄原市の方向性や思いを、この上野総合公園で実現していただきたいと私は個人的には思います。**

**そして最後になります。最後になるんですが、この施設の名称についてお伺いさせていただきたいと思います。上野総合公園は単に子どもたちや多世代が集うだけの場所ではなく、これらの庄原市のまちづくりにおいて、多くの子どもたちが学び、遊び、交流、それを通して世代を超えたつながりを育み、将来にわたって子どもたちの思い出として残っていく大切な場所になると私は考えております。名前というものは単に施設を呼ぶものではなく、そこに込められた思いや、その場所で過ごした人の記憶を残していくものだと思っております。だからこそ、この場所には庄原市の未来を担う子どもたちへの希望が感じられる、そんな名前をつけていただきたいと思います。子どもたちや市民から名称を募集してもいいですし、市民の思いを名称に込める方法も考えられるのではないでしょうか。そこで最後に市長に伺いたいと思います。市民の期待が大きい上野総合公園の目玉となる子どもたちと多世代の集いの場の名称について、どのようにお考えが考えられているのでしょうか。また、子どもたちや市民の思いを反映した名称を検討する考えがあるのか、市長の見解を伺いたいと思います。**

**【桂藤議長】**

答弁、経営戦略課長。

**【経営戦略課長】**

名称に関するご質問でございますけれども、現在は子育てと多世代の集いの場という名称というか事業名を使わせていただいておりますが、これは過去の経緯から、今の時に事業名を変えますと非常に流れが複雑化しですね、説明が難しくなるという視点もありまして、これまで続いてきた名称を事業名としては活用しています。施設の名称に関しては、どういう形がいいのかというのは内部でも検討しておりますので、議員のご指摘いただいたご意見等も参考にさせていただいて、今後どういう名称が最適なのかというところはしっかり検討してまいりたいと考えております。

**【桂藤議長】**

青山学議員。

**青山学議員**

**今回の施設が単に新しい遊具や施設が整備された場所ではなく、子どもたちが遊び、多世代が交流し、庄原市の未来につながる場所となり、それが庄原市全体に波及していくことを期待をして、私の質問を終わらせていただきたいと思います。**

---

## 質問の終了

**【桂藤議長】**

以上で青山学議員の質問を終わります。この際、暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

[音声終了]